

## (4) 受講生によるアンケート評価

### ◎「保育系学部生のための食農フィールド科学演習」アンケート集計結果

受講者数：計 15 名

#### I 本取組に関する共通の質問

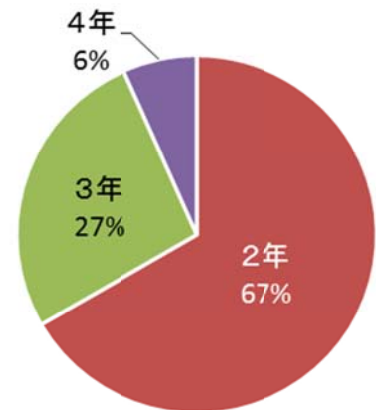
##### I-1【属性について】

##### I-1-1) 所属大学・学部（コース等）

- 東洋英和女学院大学 人間科学部：15 名

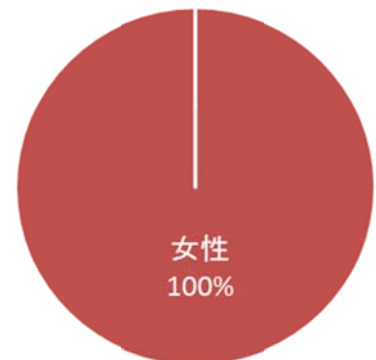
##### I-1-2) 学年

- 1 年次生：該当者なし
- 2 年次生：10 名
- 3 年次生：4 名
- 4 年次生：1 名



##### I-1-3) 性別

- 男性：該当者なし
- 女性：15 名

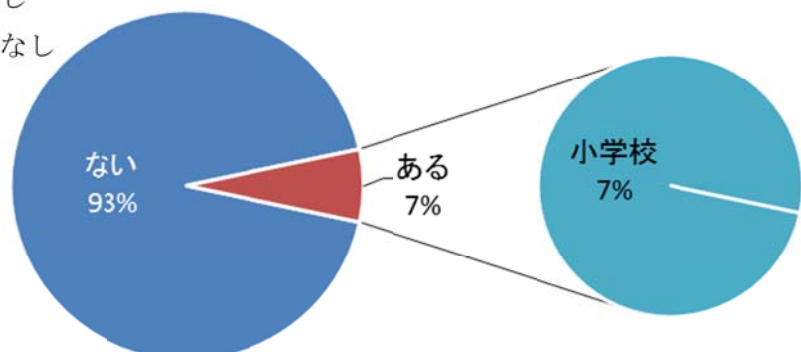


##### I-1-4) この演習以外に、これまでにフィールドを利用した授業を受けた経験があるか

ある：1名， ない：14名

##### I-1-5) それほどの時期か(複数可)

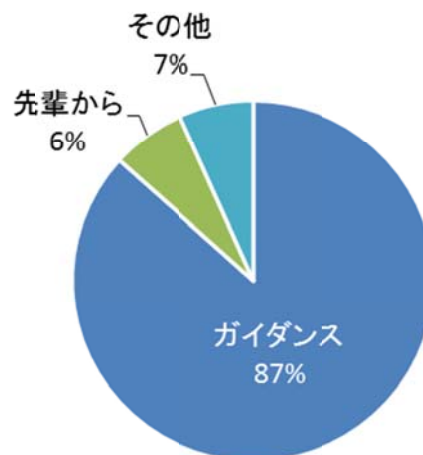
- 大学：該当者なし
- 高校：該当者なし
- 中学校：該当者なし
- 小学校：1 名



## I-2【この授業に参加するにあたっての情報入手について】

### 授業のことを、何を通して知ったか（複数可）

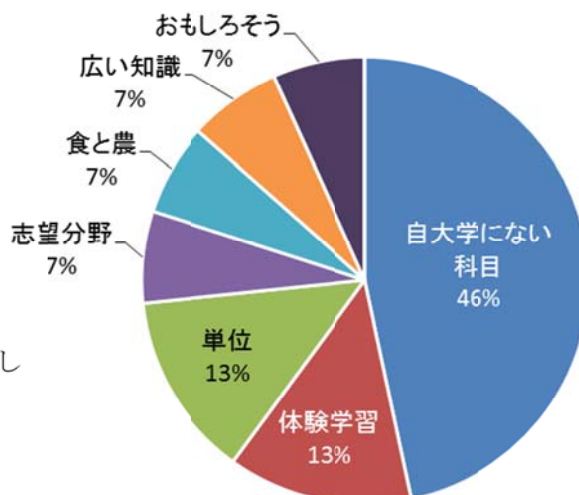
- ガイダンス：13名
- パンフレット：該当者なし
- 先輩から：1名
- ネット：該当者なし
- その他：1名



## I-3【この授業に参加した理由について】

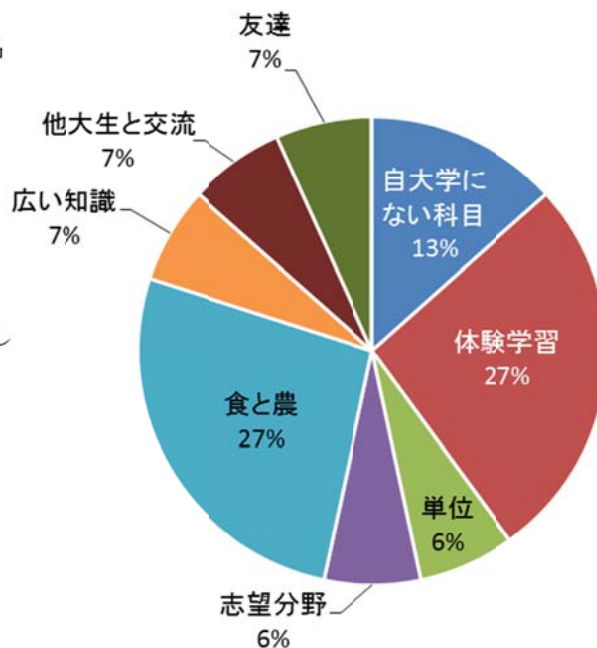
### I-3-1) 最も強い動機はどれだったか

- 自分の大学には無い授業科目だから：7名
- 体験学習だから：2名
- 単位が取得できるから：2名
- 現在の志望分野に関係するから：1名
- 食と農について学べるから：1名
- 広い知識を得たいから：1名
- 他大学のことを知りたいから：該当者なし
- 他大学の学生と交流できるから：該当者なし
- 友人が参加するから：該当者なし
- おもしろそうだから：1名
- その他（自由記述）：該当者なし



### I-3-2) 二番目に強い動機はどれだったか

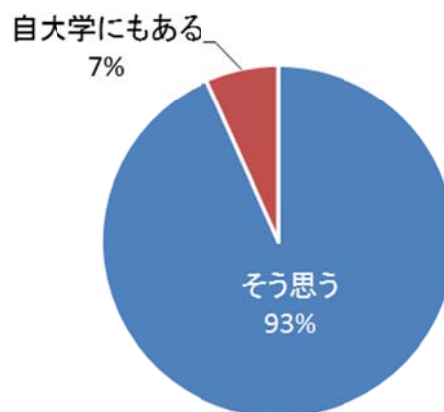
- 自分の大学には無い授業科目だから：2名
- 体験学習だから：4名
- 単位が取得できるから：1名
- 現在の志望分野に関係するから：1名
- 食と農について学べるから：4名
- 広い知識を得たいから：1名
- 他大学のことを知りたいから：該当者なし
- 他大学の学生と交流できるから：1名
- 友人が参加するから：1名
- おもしろそうだから：該当者なし
- その他（自由記述）：該当者なし



#### I-4 【広島大学で授業を受けた感想】

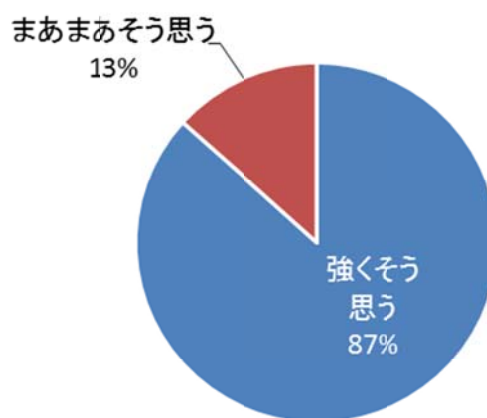
##### I-4-1) 今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容だった

- そう思う：14名
- 自分の大学にも類する科目がある：1名
- わからない：該当者なし



##### I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できて良かった

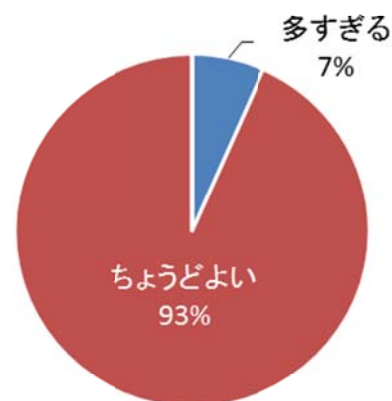
- 強くそう思う：13名
- まあまあそう思う：2名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



#### I-5 【他大学の学生との交流等について】

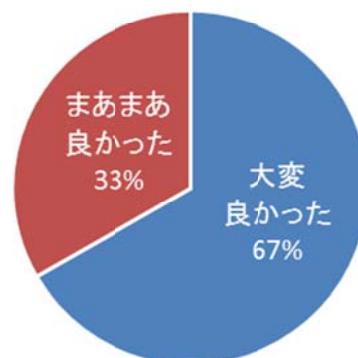
##### I-5-1) 今回の授業の受講者数（30名）は、

- 多すぎる：1名
- 丁度良い：14名
- 少なすぎる：該当者なし



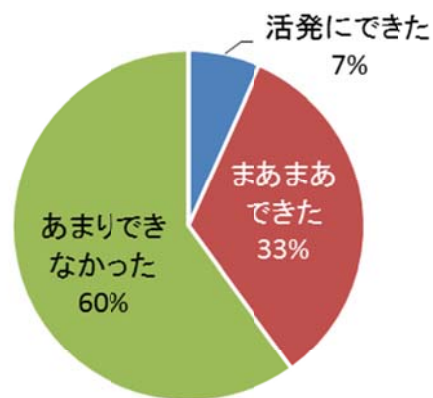
##### I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- 大変良かった：10名
- まあまあ良かった：5名
- あまり良くなかった：該当者なし
- 悪かった：該当者なし



### I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたと思うか

- 活発にできた：1名
- まあまあできた：5名
- あまりできなかった：9名
- 全くできなかった：該当者なし

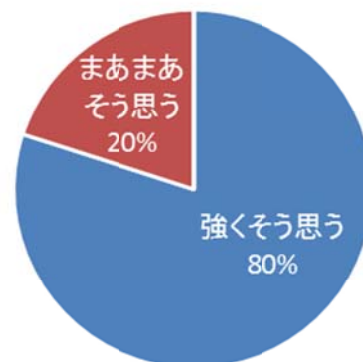


### I-6 【演習の実施方法について】

(この授業は、4日間の集中形式で、講義、実習、発表の3部から構成されている)

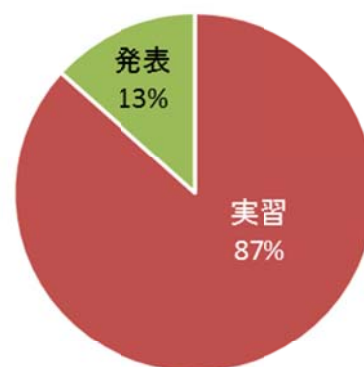
#### I-6-1) こうした組合せは、授業を理解する上で有効である

- 強くそう思う：12名
- まあまあそう思う：3名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



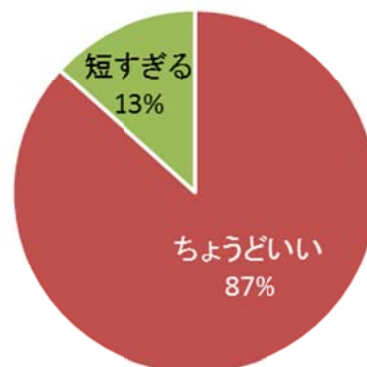
#### I-6-2) 講義、実習、発表のうち、最も面白かったもの

- 講義：該当者なし
- 実習：13名
- 発表：2名



#### I-6-3) 3泊4日の日数について

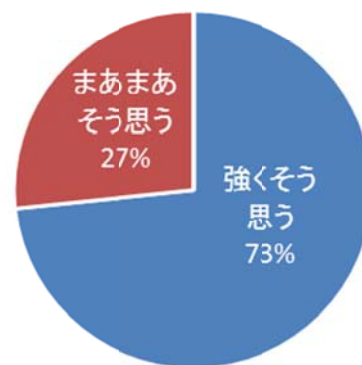
- 長すぎる：該当者なし
- 丁度良い：13名
- 短すぎる：2名



## I-7【参加費に関して】

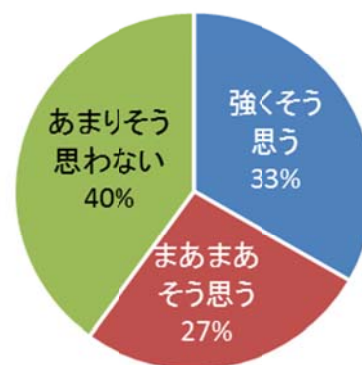
### I-7-1) 自分の得たものを考えると参加費は妥当か

- 強くそう思う：11名
- まあまあそう思う：4名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



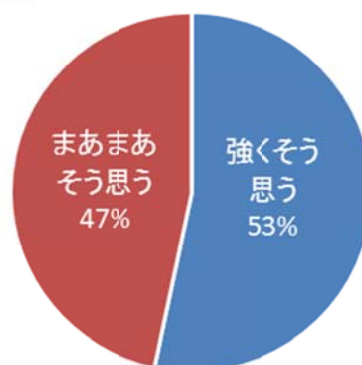
### I-7-2) 参加費(実費)から考えて、食事は満足できたか

- 強くそう思う：5名
- まあまあそう思う：4名
- あまりそう思わない：6名
- 全く思わない：該当者なし



### I-7-3) 参加費(実費)から考えて、宿泊施設には満足できたか

- 強くそう思う：8名
- まあまあそう思う：7名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



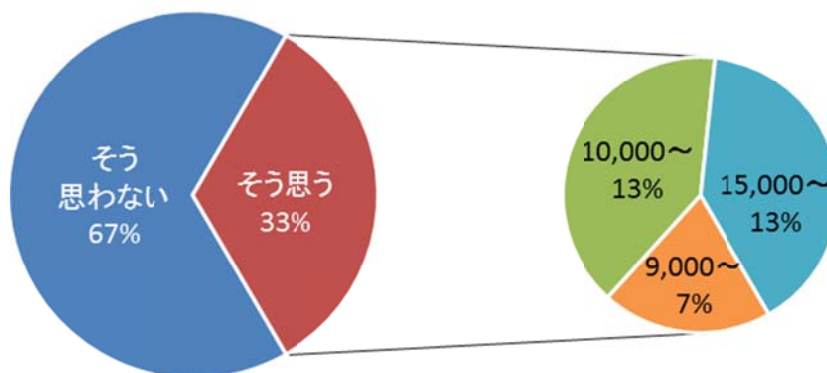
I-7-4) 参加費（実費）をもっと高くしても食事と宿泊施設を良くしてほしいか

- そう思う：5名



I-7-5) 参加費（実費）がどの程度までなら参加するか

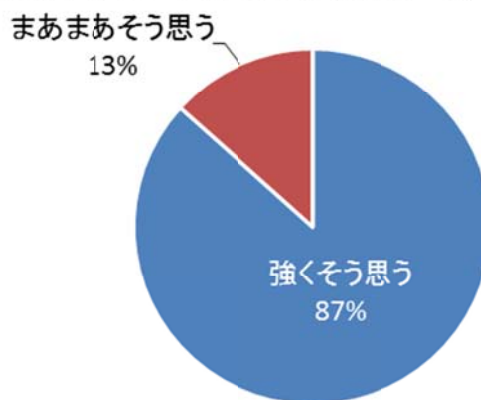
- 9,000円～：1名
  - 10,000円～：2名
  - 15,000円～：2名
  - 20,000円～：該当者なし
- そう思わない：10名



I-8 【食農フィールド科学演習全体について】

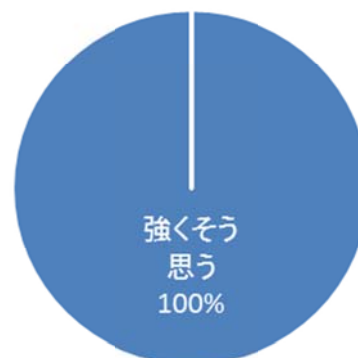
I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の講義だけの授業よりも、物事を考える上で、有意義である

- 強くそう思う：13名
- まあまあそう思う：2名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



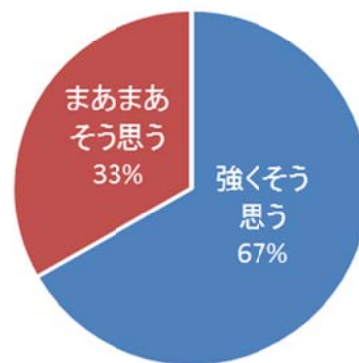
I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや面白さを知った

- 強くそう思う：15名
- まあまあそう思う：該当者なし
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



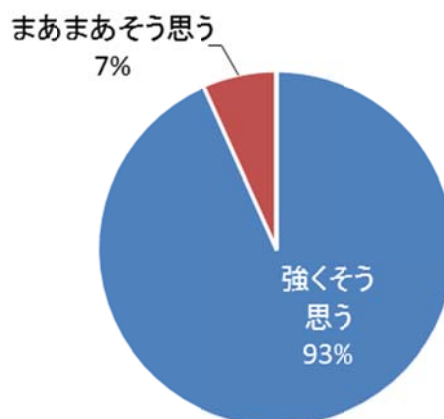
I-8-3) この演習を受講して食べ物と農業の関係についてもっと知りたくなった

- 強くそう思う：10名
- まあまあそう思う：5名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



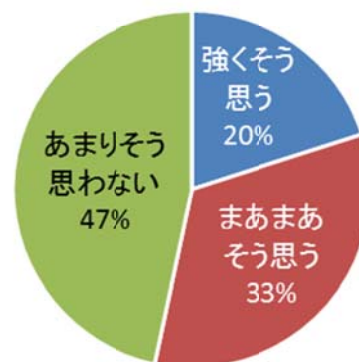
I-8-4) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

- 強くそう思う：14名
- まあまあそう思う：1名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



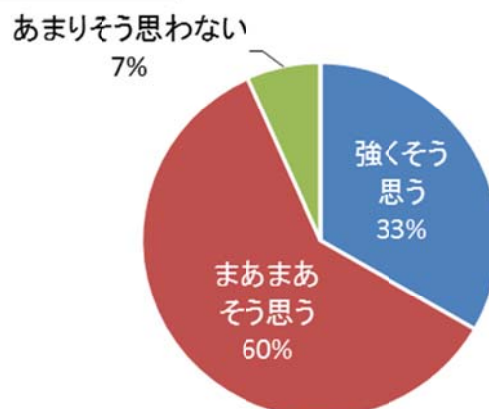
I-8-5) この演習によって、わが国の食料自給率について考えるようになった

- 強くそう思う：3名
- まあまあそう思う：5名
- あまりそう思わない：7名
- 全く思わない：該当者なし



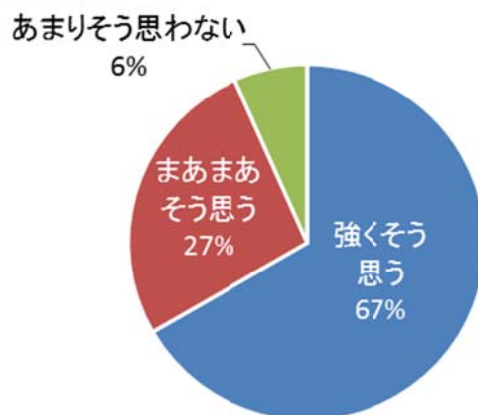
I-8-6) この演習によって、行動力や積極性を高めることができた

- 強くそう思う：5名
- まあまあそう思う：9名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



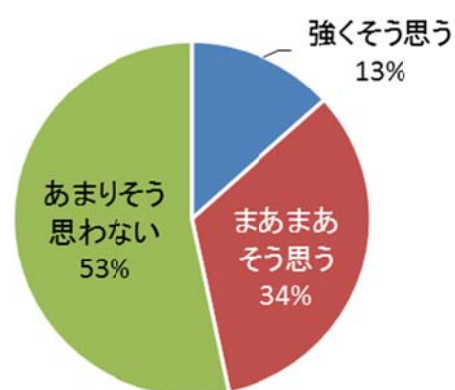
I-8-7) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

- 強くそう思う：10名
- まあまあそう思う：4名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



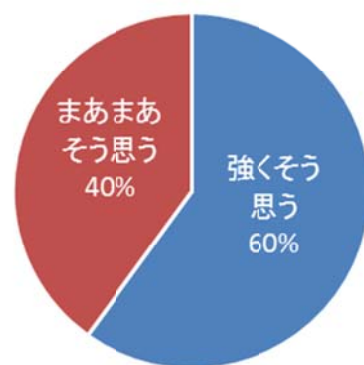
I-8-8) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

- 強くそう思う：2名
- まあまあそう思う：5名
- あまりそう思わない：8名
- 全く思わない：該当者なし



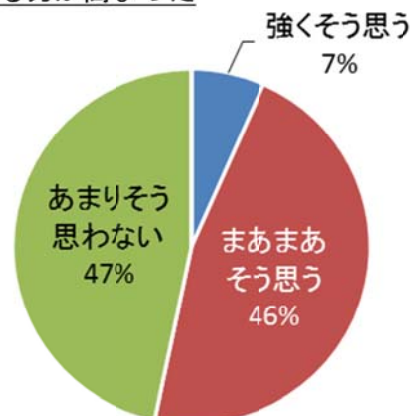
I-8-9) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

- 強くそう思う：9名
- まあまあそう思う：6名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



I-8-10) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

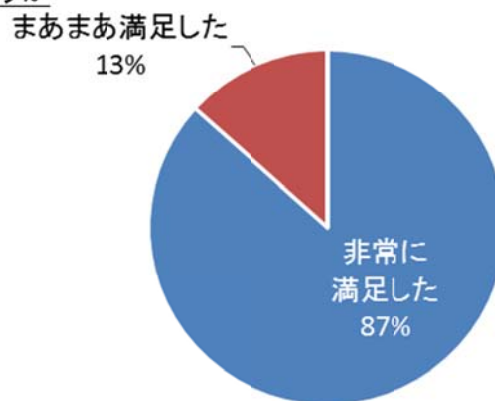
- 強くそう思う：1名
- まあまあそう思う：7名
- あまりそう思わない：7名
- 全く思わない：該当者なし





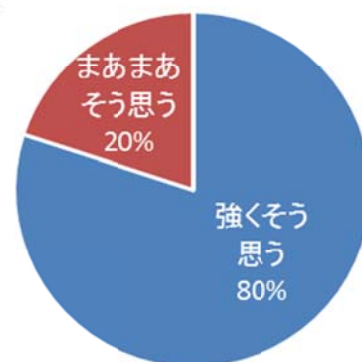
I-8-11) 参加する前の期待度と比べて満足度はどうか

- 非常に満足した：13名
- まあまあ満足した：2名
- あまり満足できない：該当者なし
- 全く満足できない：該当者なし



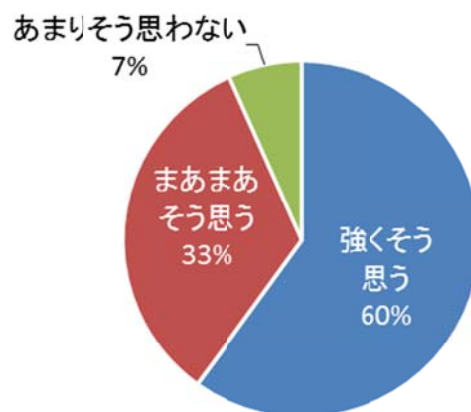
I-8-12) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思ったか

- 強くそう思う：12名
- まあまあそう思う：3名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



I-8-13) フィールド科学演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やして欲しいか

- 強くそう思う：9名
- まあまあそう思う：5名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし

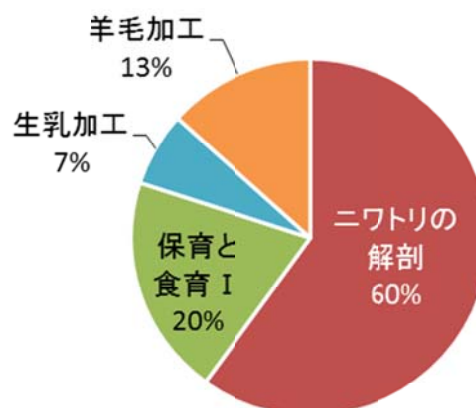


## Ⅱ 授業に関する質問（この演習は、講義、実習、発表等から構成されている）

### Ⅱ－１【今回の講義に関する質問】

#### Ⅱ－１－１）最も面白いと感じた講義とその理由

- 演習ガイダンス：該当者なし
- 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る：9名
- 保育と食育Ⅰ：3名
- 牧草から牛乳ができるまで：該当者なし
- 搾乳した生乳を加工する：1名
- 羊毛の加工：2名



#### <理由>

##### 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る

- ・初めて解剖したから。
- ・初めて解剖したから。
- ・経験がなく、衝撃が強かったから。
- ・鶏の解剖をしたことがなかったから。
- ・本物の胃や腸などを見て印象に残っている。
- ・はじめてだったから。
- ・鶏の体を目で見て確かめることができたから。
- ・解剖したのが初めてで実際に見て触って体の仕組みを学べた。
- ・やったことのないことだったから。

##### 保育と食育Ⅰ

- ・今まで出会ったことのない専門分野の方とディスカッションできるから。
- ・皆で議論を交わしながら答えを模索できたから。
- ・「いただきます」を誰に言うかという議題が印象的だった。

##### 搾乳した生乳を加工する

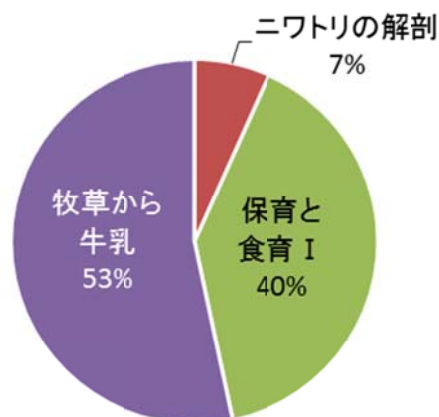
- ・実際にバター作りをしてそれを食べることができたから。

##### 羊毛の加工

- ・地道な作業がとても楽しかった。
- ・多くの羊毛に触れ、さまざまな加工を体験して楽しかった。

## Ⅱ－１－２）最も理解しにくかった講義とその理由

- 演習ガイダンス：該当者なし
- 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る：1名
- 保育と食育Ⅰ：6名
- 牧草から牛乳ができるまで：8名
- 搾乳した生乳を加工する：該当者なし
- 羊毛の加工：該当者なし



### <理由>

#### 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る

- ・よく理解できなかった。

#### 保育と食育Ⅰ

- ・内容が難しかった もっと時間をかけたい。
- ・演習の開始直後で自分の考えがまとまっていなかったから。
- ・最終的な答えが出なかったから。
- ・いろいろと意見は出たが答えは出なかった。
- ・話が飛躍してしまうことがあったから。
- ・答えがないことについて話すのは難しかった。

#### 牧草から牛乳ができるまで

- ・化学的で難しかった。
- ・少し難しい用語がでてきたため。
- ・用語が難しかった。
- ・基礎知識があまりなかったので難しく感じた。
- ・化学の知識が出てきたので少し難しかった。
- ・化学式がわからなかったから。
- ・流れはよくわかったが、専門用語が難しかった。
- ・他の講義に比べて話を聞く時間が長かったから。

## Ⅱ-2【今回の実習に関する質問】

### Ⅱ-2-1) 最も面白いと感じた管理作業とその理由

- 乳搾り体験：13名
- 乳牛へのエサやり：該当者なし
- 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除：2名
- 肉牛へのエサやり：該当者なし

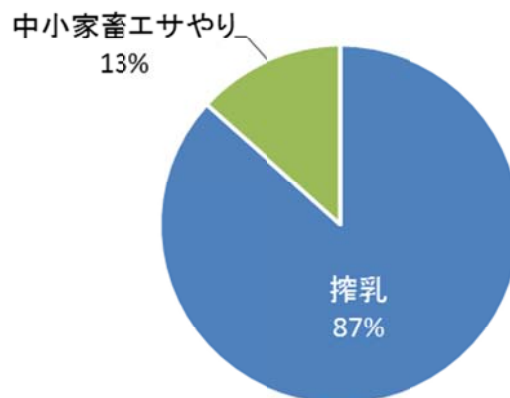
#### <理由>

##### 乳搾り体験

- ・やったことがなかったため。
- ・はじめてだったので。
- ・間近で牛とふれあえたから。
- ・以前からしてみたかった。
- ・はじめてで楽しかった。
- ・牛を触ったことがなかった。
- ・これを楽しみにしてきた。
- ・牛を見ることや乳搾りは初めての体験だったので。
- ・テレビなどで見ていてあこがれの乳搾りができたから。
- ・実際にやってみたのははじめてだったから。
- ・牛に触れることができた。
- ・初めて牛に触ることができた。
- ・牛の乳に触れたから。

##### 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除

- ・羊が一斉に放牧地に行くのを見られたから。
- ・時間に余裕があったのでしっかり向き合えた。



## Ⅱ-2-2) 最も理解しにくかった管理作業とその理由

- 乳搾り体験：該当者なし
- 乳牛へのエサやり：2名
- 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除：4名
- 肉牛へのエサやり：3名
- 無回答：6名

### <理由>

#### 乳牛へのエサやり

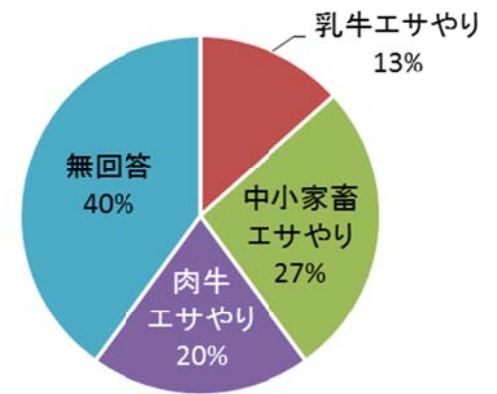
- ・牧草を混ぜる時にいろいろと混ぜていて難しい。
- ・エサ作りはしたが牛にあげるのはすぐに終わってしまった。

#### 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除

- ・家畜のおかれている状況がよくわからなかった。
- ・人数などの関係で先生の説明が聞き取りにくかった。
- ・バターがあまり上手にできなかった。
- ・ヤギのけんかが衝撃的だった。

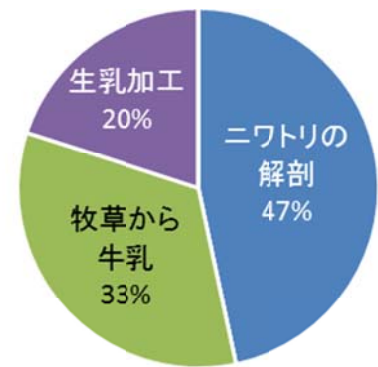
#### 肉牛へのエサやり

- ・乳牛との区別がつかなかった。
- ・肉牛のエサやりは実際にはしなかったから。
- ・あまりやらなかったから。



## Ⅱ－２－３）最も面白いと感じた実習（講義と実習がセットになっている授業）とその理由

- 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る：7名
- 牧草から牛乳ができるまで：5名
- 搾乳した生乳を加工する：3名
- 羊毛の加工：該当者なし



### <理由>

#### 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る

- ・初めて中身を見た。
- ・普段できない体験ができたから。
- ・体験したことがなくてためになった。
- ・興味があったため。
- ・初めての分野だった。
- ・なかなかできることではないから見ていてすごく面白かった。
- ・見たことのない体の構造を立体的に感じることでできたため。

#### 搾乳した生乳を加工する

- ・バター作りが楽しかった。
- ・振るのが楽しかった 本気でできると思っていなかった。
- ・バターができることを体験できたから。
- ・バターを作って実際に食べて面白かった。

#### 羊毛の加工

- ・保育学科のようでとても楽しかった。
- ・羊毛で小さい羊を作った。
- ・多くの羊毛に触れたから。

## Ⅱ－２－４）最も理解しにくかった実習（講義と実習がセットになっている授業）とその理由

- 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る：2名
- 牧草から牛乳ができるまで：10名
- 搾乳した生乳を加工する：該当者なし
- 羊毛の加工：該当者なし
- 無回答：3名

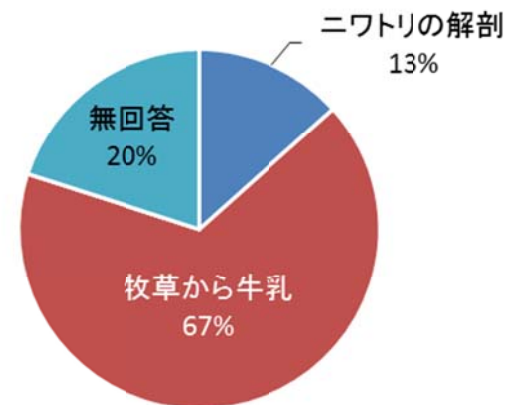
### <理由>

#### 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る

- ・解剖は慣れていないので大変だった。
- ・話が飛躍していた。

#### 牧草から牛乳ができるまで

- ・時間が短いと感じた。
- ・内容が少し難しかった。
- ・内容がややこしかった。
- ・化学的だった。
- ・最初に黒板に書いてあることが分かりにくかった。
- ・化学的などところが難しかった。
- ・成分などが良くわからなかった。
- ・説明がよく聞こえなかったため。
- ・個人的に難しいと思ったから。

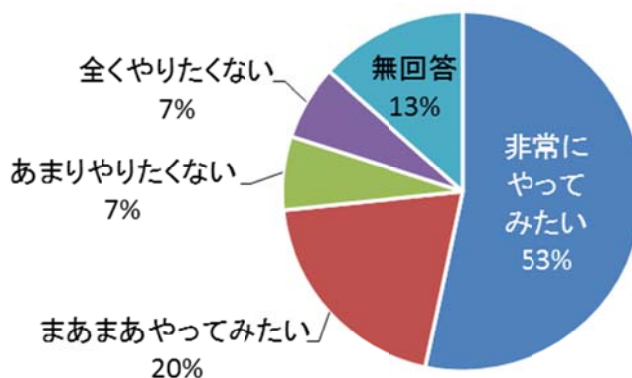


## Ⅱ－２－５）作ってみたい食品や体験してみたい作業工程

- カレー：4名
- ソーセージ：3名
- チーズ：3名
- アイスクリーム：2名
- ヨーグルト
- プリン
- 焼き鳥
- ヨーグルト

## Ⅱ-2-6) 演習中に自習してみたいか

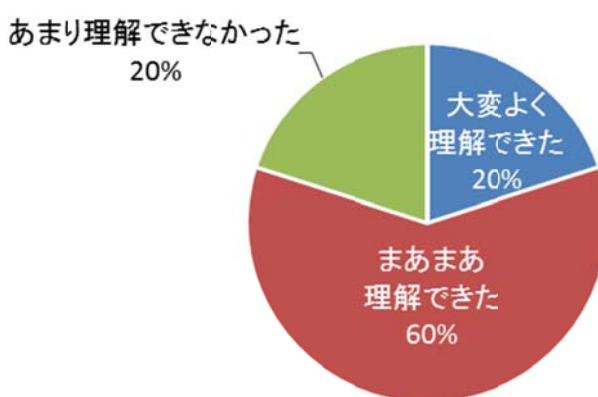
- 非常にやってみたい：8名
- まあまあやってみたい：3名
- あまりやりたくない：1名
- 全くやりたくない：1名
- 無回答：2名



## Ⅱ-3 【今回の発表会および発表準備に関する質問】

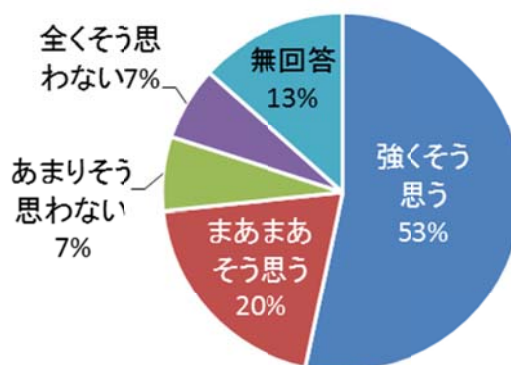
### Ⅱ-3-1) 発表準備会2日目の教員と技術職員による授業と討論は理解できたか

- 大変よく理解できた：3名
- まあまあ理解できた：9名
- あまり理解できなかった：3名
- 全く理解できなかった：該当者なし



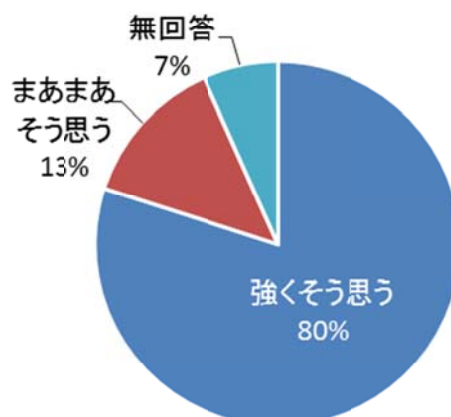
### Ⅱ-3-2) 演習3日目の農場における自由質問時間は発表の準備に役立ったか

- 強くそう思う：8名
- まあまあそう思う：3名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：1名
- 無回答：2名



### Ⅱ-3-3) 発表のチームワークは上手くできたか

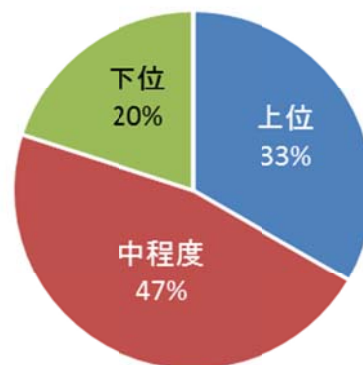
- 強くそう思う：12名
- まあまあそう思う：2名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし
- 無回答：1名





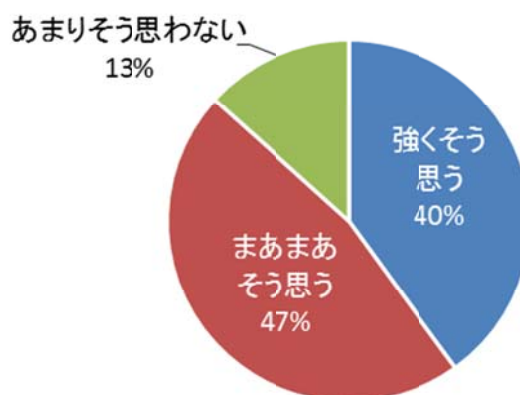
### Ⅱ－３－４）他班の発表と比較して自分たちの発表は

- 上位に位置していた：5名
- 中程度に位置していた7名
- 下位に位置していた：3名



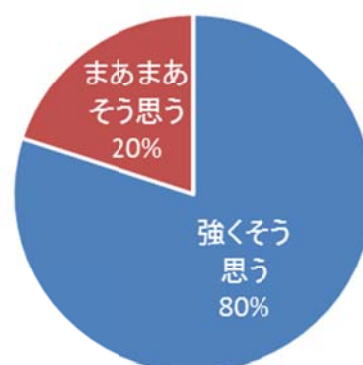
### Ⅱ－３－５）発表のための基礎的な手法が身に着いたか

- 強くそう思う：6名
- まあまあそう思う：7名
- あまりそう思わない：2名
- 全く思わない：該当者なし



### Ⅱ－３－６）発表会をすることで、講義や実習の内容がより理解できた

- 強くそう思う：12名
- まあまあそう思う：3名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし

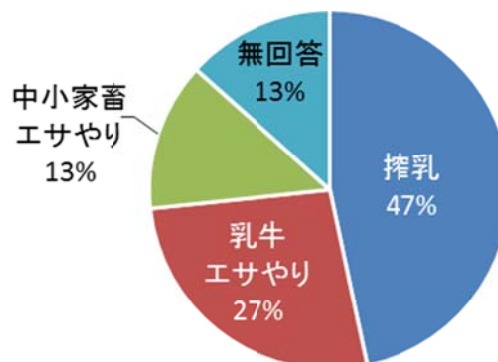


### Ⅲ TAに関する質問

#### Ⅲ-1【TAの補助に関する質問】

##### Ⅲ-1-1) TAの補助が最も役に立ったのは、どの管理作業か(その具体例)

- 乳搾り体験：7名
- 乳牛へのエサやり：4名
- 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除：2名
- 肉牛へのエサやり：該当者なし
- 無回答：2名



#### <具体例>

##### 乳搾り体験

- ・いろいろ教えてくれた。
- ・近くにいてくれてお手伝いやアドバイスをくれたから。
- ・わからないことを教えてくれた。
- ・少人数だったので説明もわかりやすかった。
- ・たのしかったため。
- ・そばで話しかけてくれた。

##### 乳牛へのエサやり

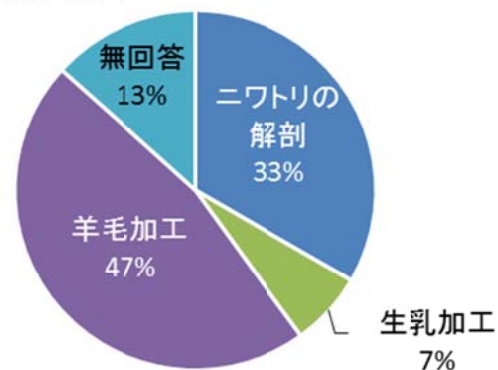
- ・わからないことを教えてくれた。
- ・分量が難しい。
- ・餌のやり方を教えてくれた。

##### 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除

- ・やり方を教えてくださった。
- ・餌のやり方を教えてくれた。

### Ⅲ-1-2) TAの補助が最も役に立ったのは、どの実習か（その具体例）

- 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る：5名
- 牧草から牛乳ができるまで：該当者なし
- 搾乳した生乳を加工する：1名
- 羊毛の加工：7名
- 無回答：2名



#### <具体例>

##### 家畜（ニワトリ）の体の仕組みを見る

- ・自分ではできない解剖をしてきて説明もわかりやすかった。
- ・わからないことを教えてくれた。
- ・自分ではできなかったから。
- ・わからないことを教えてくれた。
- ・解剖したことないから。

##### 搾乳した生乳を加工する

- ・やり方を教えてくださった。

##### 羊毛の加工

- ・作り方や知識を教えてくれた。
- ・TAが指導してくれたから。
- ・羊毛の加工の仕方を具体的に教えてくれたため。
- ・親切に教えてくれた。
- ・羊毛の加工方法を教えてくれた。
- ・羊のマスコットづくりを手伝ってくださった。

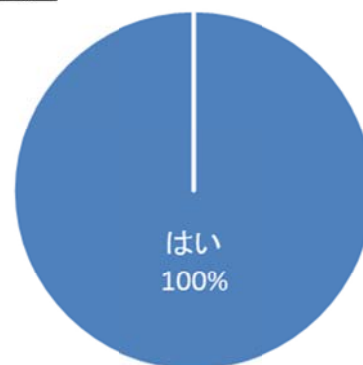
### Ⅲ－１－３）発表準備においてTAの補助は役に立ったか（その理由）

- はい：15名
- いいえ：該当者なし

#### <理由>

##### はい

- ・わからないことに対して的確なアドバイスをもらえた。
- ・心配してくれた。
- ・自分たちの気づかない考えを出してくれた。
- ・先生よりも気軽に話しかけることができたから。
- ・やさしくて学習面においてもとても役に立ちました。
- ・材料を準備してくださった。
- ・パソコンや原稿の準備をしてくれた。
- ・いつも優しくてニコニコ丁寧に指導をしてくれたため。
- ・写真をくれたりパソコン操作を手伝ってくれた。
- ・パソコンの使い方を教えてくれた。
- ・常に近くにいてくださるので質問しやすかった。
- ・画用紙などを準備して、絵についても意見をくださった。
- ・発表内容のきっかけ作り、参考になった。



## 総合考察

平成 25 年度までは、非農学系学生を対象とした命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習と農学系学生を対象とした酪農フィールド科学演習のみを開講してきたが、平成 26 年度は、これらの演習に加えて、保育系学部生のための食農フィールド科学演習を試験的に実施した。その理由は、平成 27 年度から共同利用拠点の再認定を受けたことにある。継続認定では、これまでの演習に加えてさらに二つの新しい演習を開講する予定となっており、その一つが保育系学部生のための食農フィールド科学演習である。今年度の本演習の受講生は、関東圏の女子学生であり、これまでのフィールド授業体験はほとんどなかったことから、食農体験や畜産に関する知識の習得だけではなく、単純に自然の中で 4 日間を過ごせたことや、初めて見る大きな牛に触れることができたことなどが大きく印象に残ったようである。また、本演習でもニワトリの解体実習を取り入れていたが、それに対する感想も、命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習の受講生とは異なっていた。具体的には、卒業後に保育に携わる学生が多いことから、幼稚園や保育園の教員の目線で動物の命について考える傾向にあった。本演習の最後に行った発表会においても、他の演習の受講生が PC を用いていたのに対して、保育の現場で用いる紙芝居や人形劇の手法を用いる点が特徴的であった。尚、大学院生 TA に対する受講生の評価は概ね良好であったが、TA を担当した大学院生は、自分たちの専門とかなり異なる受講生に対しての戸惑いも認められた。しかし、今後も TA を伴う授業プログラムを継続することで、受講生と TA の大学院生が異分野交流を通して学ぶことも大きいと思われる。本農場では平成 27 年度から共同利用拠点の再認定を受けており、特に保育系学部生のための食農フィールド科学演習が継続後の新規開講科目となるので、生物生産と保育とを融合した学際的な教育についてさらに質的向上に努めたい。そのためには、受講生だけでなく、保育系大学の教員の積極的参加が望まれる。